

2022年度  
能力強化研修

## 水道

2022年11月4日（金）～24日（木）  
（計7日間）

## 募集要項

独立行政法人 国際協力機構  
人事部 開発協力人材室

**※本研修はオンラインで実施します**

## はじめに

安全な水と衛生の確保は、疾病予防の観点だけでなく、水の確保のための労力の低減などの観点でも重要であり、2030年に向けた国際社会の「持続可能な開発目標」(SDGs)に含まれるなど重要な協力分野です。我が国は、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など様々な形態で上下水道分野の開発途上国への協力を行っています。

上水道分野での協力では、施設の計画、設計、施工監理は民間の開発コンサルタントが担っているものの、我が国では水道事業の運営・維持管理(事業経営、水道施設のオペレーション等)を主に地方自治体が担っていることから、運営・維持管理の技術支援については、地方自治体からの JICA 専門家や調査団員を派遣する事例が多々見られます。

また、近年インフラ輸出戦略の一環として ODA(政府開発援助)を日本企業による海外への進出に役立てる方針が政府から打ち出され、水分野においても、日本国内で水道事業の運営・維持管理を担っている地方自治体等の水道事業体の ODA への参画が進んでいます。このため、地方自治体からの専門家や調査団の派遣が増加する傾向にあるとともに、地方自治体が設立した第3セクターが技術協力プロジェクトを担う例が増加しています。

本コースは、主に我が国の水道事業体等で水道事業運営に携わる方を対象とし、開発途上国の水道行政官が参加する課題別研修「水道管理行政及び水道事業経営(B)」と合同で実施する計7日間(オンデマンドによる事前研修期間を除く)のコースです。開発途上国の水道事業の課題や展望に対する理解を深めていただくとともに、JICA 専門家あるいは調査団員に必要な知識・技術の習得を目的とします。また、研修員と共に英語で研修を実施することにより、開発途上国支援に必要なコミュニケーション力、理解力、応用力も養成します。

皆様のご応募をお待ちしております。

## 1. 研修コース名、研修期間、募集人数

(1)コース名:能力強化研修「水道」コース

(2)期間: 2022年11月4日(金)～11月24日(木)(計7日間)

※10月下旬～11月上旬に、オンデマンドによる事前研修(必須)を受講いただきます。

(3)募集人数: 10名程度

## 2. 応募要件

本研修の応募者は、下記の全ての要件を満たす方とします。

(1)応募者或いは応募者の所属団体が JICA の技術協力事業、草の根技術協力事業、研修事業等、JICA 関連事業に関わる意志があること。

(2)全日程に参加可能であること

(3)水道分野における専門技術或いは行政能力を有し、かつ5年程度以上の地方自治体或いは水道事業者での実務経験(うち3年以上の水道関連事業での実務経験)を有すること。

(4)原則として、英語検定2級、TOEIC500(TOEIC S&W 220点)、TOEFL470点(CBT150点、iBT52点)、国連英検C級程度以上の語学力を有する方。

※保持している語学力に係る公的資格を、取得年月とともに履歴書に記載してください。

※上記に満たなくとも、英語でのコミュニケーションに支障が無いと判断される場合は、

その旨履歴書に記載してください。

## 3. 研修会場

本研修は、オンライン(Zoom 使用予定)で実施します。

## 4. 研修概要

(1)講師（調整中）

(2)コースリーダー（調整中）

(3)目的

開発途上国からの研修員とともに、日本の水道事業の発展の歴史や水道事業を取り巻く状況について学び、開発途上国における水道事業の課題の把握や改善に向けた方策を議論することにより、JICA 専門家あるいは調査団員等として派遣される際に必要となる専門知識の概略を把握することを目的とします。また、研修員と共に英語で研修を実施することにより、開発途上国支援に必要なコミュニケーション力、理解力、応用力を養成します。

(4) 内容

JICA 東京が実施する上水道分野の課題別研修コース「水道管理行政及び水道事業経営(B)」に参加し、開発途上国からの研修員（水道行政、水道事業経営を担当する幹部職員及び幹部候補職員）とともに、水道経営について学び、発表・議論し、改善策を見出します。

研修は、講義（水道行政、健全な水道事業経営、無収水対策等）、レポート発表、討議、グループ・ワーク等から構成されています。グループ・ワークでは、日本人受講者と開発途上国からの研修員で構成される少人数のグループで、講義テーマやアクション・プラン（研修員が本研修を通じて得た知識をもとに考案する事業改善案）に係るグループ討議を行います。

また受講者は、以下「5. 課題の作成・提出」に記載のある資料を事前に作成・提出し、研修中に発表していただきます。

(5) 日程予定表（※ 日付、研修内容ともに暫定。今後、要調整。）

10月下旬 ～11月上旬		オンデマンド教材による自習
11月4日(金)	10:00- 11:30	接続テスト、プログラムオリエンテーション、自己紹介
11月15日 (火)	AM	グループワーク:各国との比較、日本の水道行政について
	PM	グループワーク結果意見交換
11月16日 (水)	AM	PI (Performance Indicator) の活用、日本の公衆衛生の歴史
	PM	コロナ禍をテーマとしたディスカッション
		(過年度参加者からのアドバイスとディスカッション)
	AM	公衆衛生と水道及び水安全計画、グループワーク(水安全計画の作成)

11月17日 (木)	PM	JICAの協力手法とプロジェクトマネジメント
11月21日 (月)	AM	JICAの上水道分野の支援、無収水対策と経営、水道事業者における人材育成 (意見交換)
	PM	現役専門家(または過去専門家)の体験談とディスカッション
11月22日 (火)	AM	水道経営・水道会計・アセットマネジメント+ Public Private Partnership(PPP)、ディスカッション
	PM	これまでの研修を振り返って(意見交換)
11月24日 (木)	AM	アクションプラン発表
	PM	修了式、研修総括

※ 講義時間は 10:00～16:30 頃を予定しています。

※ 講義日により、終了時刻が 30 分～1 時間ほど早まります。

※ <重要>研修は全ての日程において、午前は開発途上国研修員が受講する課題別研修との合同での実施、午後は日本人のみのセッションとなります。これにより使用言語は、午前⇒英語、午後⇒日本語となります。

## 5. 課題の作成・提出(英文プレゼンテーションの作成・提出)

研修受講決定後、受講者には事前課題として下記の作成要領に沿って英文プレゼンテーションを作成していただき、開発途上国からの研修参加者と共有することとしています。

### (1) プレゼンテーション作成・提出要領

- ① 使用ソフト           Microsoft PowerPoint 2016  
(上記ソフト以外を使用する場合は互換性にご留意ください。)
- ② スライド枚数       5 枚程度(推奨)
- ③ 作成・発表言語   英語
- ④ 提出方法           hrgtc@jica.go.jp 宛にメールで提出してください。
- ⑤ 期日                別途お知らせいたします。

### (2) 発表テーマ

受講者の所属組織が過去に開発途上国において JICA 技術協力プロジェクト等を実施した経験を有するかどうかに応じ、下記の①、②いずれかの発表テーマを設定してください。(発表テーマとして取り上げる課題の例を下部に列挙しておりますので、ご参照ください。)

- ① 受講者の所属組織が JICA 技術協力プロジェクト等を実施したことがある場合  
所属組織が実施した過去の技術協力プロジェクト等に関し、下記の(1)～(4)についてプレゼンテーションを作成してください。

- (ア) 技術協力プロジェクトが対象とした国、課題
- (イ) 課題への具体的な対応プロセス(どのように課題を克服したか)
- (ウ) プロジェクトの成果
- (エ) 現時点での課題(実施中の案件の場合)

なお、プレゼンテーションの作成にあたっては既存の資料の調査に加え、所属組織内での JICA 専門家経験者等へのインタビューを行うことを推奨します。

- ② 受講者の所属組織が JICA 技術協力プロジェクト等を実施したことがない場合  
 所属組織が過去に経験・克服した課題に関し、下記の(1)～(4)についてプレゼンテーションを作成してください。
- (ア) 所属組織が過去に経験・克服した課題
  - (イ) 課題への具体的な対応プロセス(どのように課題を克服したか)
  - (ウ) プロジェクトの成果
  - (エ) 現時点での課題

《発表テーマとして取り上げる課題の一例》

下記に挙げられた課題以外を選定しても構いませんが、取り上げる課題は一つのみとします。

無収水率改善	配水管理
料金徴収率改善	水質管理
職員能力向上、関連人材育成	水源開発
技術の継承	アセットマネジメント
浄水処理	防災・気候変動への対応

- ※ 上記①、②いずれの場合も発表テーマとして取り上げたい課題を第3希望まで「様式3 自己申告書」にご記載下さい。選考結果通知の際に、ご発表頂く課題をお知らせします。

## 6. 事前オリエンテーション

合格者を対象とした事前オリエンテーションをオンラインで実施予定です。詳細については合否通知時にご連絡いたします。

## 7. オンデマンドによる事前研修

オンデマンドによる事前研修を受講いただきます。詳細については合否通知時に

ご連絡いたします。

## 8. 応募方法

### (1) 応募書類

すべて所定の様式(添付)をご使用ください。所定の様式は以下リンク先の website から入手可能です。

<https://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html#a03>

#### ① 履歴書

**ファイル名は「氏名\_1履歴書」としてください。**

#### ② 推薦書

所属先の研修参加の了承を得てください。推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してください。

**ファイル名は「氏名\_2推薦書」としてください。**

#### ③ 自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目(7項目目)に必ず記載をお願いいたします。

**ファイル名は「氏名\_3自己申告書」としてください。**

### (2) 応募方法

厚生労働省及び各所属団体からのご案内に従って、上記①～③の応募書類一式をデータでご提出ください。

## 9. 応募締め切り

各所属団体からのご案内に従ってください。

## 10. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、**2022年10月上旬**を目途に、メールにて合否をご連絡いたします。

## 11. 修了証の発給

全日程を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡しします。

## 12. 留意事項

- (1) 研修期間中の盗難、紛失、事故等については、JICA は一切責任を負いません。予めご了承ください。
- (2) 研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。
- (3) 円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- (4) 研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査(アンケート形式)を実施しますので、回答にご協力願います。
- (5) オンライン受講の際、必要となる PC(スマートフォンは不可)や安定したインターネット環境(Wi-Fi 等)及び ZOOM 等の設定は受講者でご準備ください。

様式 1 履歴書

様式 2 推薦書

様式 3 自己申告書



—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

**【個人情報の利用目的】**

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる、各種情報(セミナー・イベントやホームページの案内等)や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

**【個人情報の取扱いについて】**

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

**【応募に関する問い合わせ先】**

独立行政法人 国際協力機構 人事部開発協力人材室（研修管理室）

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル

TEL: 03-3269-3471 E-mail: [hrgtc@jica.go.jp](mailto:hrgtc@jica.go.jp)